

日本地理学の 2024 年学界展望(自然環境・災害分野)を執筆しました (2025/10/31)

テーマ：日本地理学、人文地理学、学界展望
URL：https://doi.org/10.4200/jihg.77.03_342

人文地理学会の機関誌『人文地理』(77 巻 3 号、2025 年、ISSN: 0018-7216)に「2024 年学界展望」が掲載され、原裕太助教(2030 国際防災アジェンダ推進オフィス)が自然環境・災害分野の執筆を担当しました(pp.342-347)。

『人文地理』(Japanese journal of human geography)は、1948 年に創刊された日本の地理学界で最も影響力のある学術雑誌の一つです。「学界展望」は、前年 1~12 月の地理学・人文地理学諸分野の研究成果を詳しくレビューし、論評を加えるもので、毎年第 3 号に掲載され、77 巻では 21 分野に分かれて執筆されました。いずれの論文も J-Stage で閲覧できます(※直近の 4 号分は学会員に限定されています)。

21 分野：総説(担当：編集委員長(Editor-in-chief))、学史・方法論、地誌・地域研究、経済地理一般、政治地理、社会地理、文化地理、数理・計量・地理情報、地理教育、人口、村落、都市、農林業、水産業、製造業、流通・交通・サービス、ツーリズム、自然環境・災害、歴史地理(近世以前)、歴史地理(近・現代)、地図

各分野の執筆者は編集委員会の推薦・依頼を受けて担当しました。主なレビューの対象は日本地理学界の主要 10 誌である『地理学評論 Ser.A』、『Geographical Review of Japan Ser.B』*、『人文地理』*、『地学雑誌』*、『E-journal GEO』、『経済地理学年報』、『歴史地理学』、『地理科学』*、『季刊地理学』、『新地理』を中心に、都道府県など各地域単位の地理学会や諸大学で刊行されている学会誌・紀要、日本在住の地理学者が上記以外の国内外の学術雑誌や編著書に発表した論文などに渡ります。(*: Scopus 収録雑誌)



雑誌のイメージと該当論文の 1 頁目

文責：原 裕太(2030 国際防災アジェンダ推進オフィス)